

2025年度（令和7年度）福山市立東中学校 学校経営計画

学校教育目標

自ら考え主体的に生きる生徒

育成を目指す資質・能力

課題発見・解決力

表現力

自他の尊重

課題発見・解決力

- 1学年 自ら課題を見つけ、既習の知識を活用し、他者とともに解決方法を考え実行する。
- 2学年 自ら課題を見つけ、既習の知識を活用し、他者とともに論理的・批判的に解決方法を考え実行する。
- 3学年 自ら課題を見つけ、既習の知識を活用し、他者とともに論理的・批判的に解決方法を考え実行し、新たな課題の発見につなげる。

表現力

- 1学年 自分の考えや思いを整理して、分かりやすく、相手に伝える。
- 2学年 自分の考えや思いを整理して、分かりやすく、根拠に基づいて、相手に伝える。
- 3学年 自分の考えや思いを整理して、目的・場面・状況に応じて臨機応変に、相手に伝える。

自他の尊重

- 1学年 自分を高めようと努力するとともに、考え方や感じ方が違う他者を、理解しようとする。
- 2学年 自分を高めようと努力するとともに、考え方や感じ方が違う他者と、共通の目標のために協力する。
- 3学年 自分を高めようと努力するとともに、考え方や感じ方が違うことの意義を理解し、多様な他者とともに新たな価値の創造に取り組む。

めざす授業の姿

疑問や考えを質問・説明し合う活動『学び合い』を通して、生徒全員が、考えを深めたり、広げたりしている。

研究主題

自ら考え、共に学び深め合う生徒の育成 ～生徒が主体を持つ協働的な学びを通して

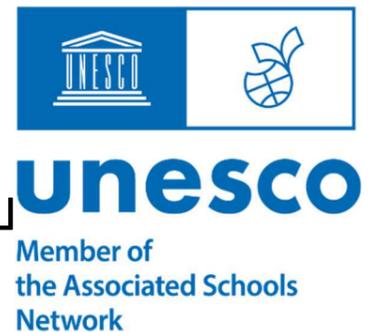
重点取組

1 小中一貫教育の推進

- 学区各小中学校における公開研究授業
- 「授業改善・ESD部会」と「特別支援教育・不登校ゼロ」の2部会

2 主体的・対話的で深い学びの推進

- 生徒が考えを深めたり、広げたりする『学び合い』
- 基礎的・基本的な力の育成を図る学習イベント
- 標準学力調査等を指標とする「授業づくりポートフォリオ」
- 生徒が主体的に家庭学習に取り組む「どんどんノート」



3 ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

- SDGsをテーマとした系統的な「総合的な学習の時間」（ふるさと学習）
 - ・1学年 福山の企業におけるSDGsの取組を学ぶ
 - ・2学年 修学旅行での企業訪問（※職場体験学習は次年度から）
 - ・3学年 SDGsパネルディスカッション
 - ・全学年 文化祭でのテーマ別探究学習
- 韓国チョンアンサンヨン中学校との交流活動

4 豊かな心・健やかな体の育成

- 校内フリースクール「すっきりルーム」を中心とした不登校生徒への取組
- 生徒が主体的に考え実行する学校行事・部活動・学級集団作り・ルール作り
- 「7つの目標」をもとにした生活習慣改善への取組
- 体力向上計画の作成・実施

5 信頼される学校づくり

- 保護者・地域と連携した学校運営協議会（コミュニティスクール）の開始
- 定時退校日と部活動休養日や5限目授業をできるだけ同一日に実施
- 不祥事防止にむけた教職員研修の計画的実施